

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東北財務局長

**【提出日】** 平成20年11月12日

**【四半期会計期間】** 第31期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

**【会社名】** サイバーコム株式会社

**【英訳名】** C y b e r C o m C o . , L t d .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 澁谷 純治

**【本店の所在の場所】** 宮城県仙台市青葉区一番町二丁目7番17号

**【電話番号】** ( 0 2 2 ) 2 1 3 - 1 8 5 6 ( 代表 )

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 佐藤 文昭

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川一丁目10番10号

**【電話番号】** ( 0 4 5 ) 3 1 2 - 3 2 7 1 ( 代表 )

**【事務連絡者氏名】** 経理・財務室長 我妻 伸男

**【縦覧に供する場所】** 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

| 回次                         |      | 第31期<br>第2四半期累計期間         | 第31期<br>第2四半期会計期間         | 第30期                      |
|----------------------------|------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間                       |      | 自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日 | 自平成20年7月1日<br>至平成20年9月30日 | 自平成19年4月1日<br>至平成20年3月31日 |
| 売上高                        | (千円) | 4,296,295                 | 2,389,735                 | 8,780,249                 |
| 経常利益                       | (千円) | 238,671                   | 217,398                   | 601,490                   |
| 四半期(当期)純利益                 | (千円) | 138,540                   | 131,151                   | 340,078                   |
| 持分法を適用した場合の<br>投資利益        | (千円) |                           |                           |                           |
| 資本金                        | (千円) |                           | 399,562                   | 399,562                   |
| 発行済株式総数                    | (株)  |                           | 2,005,400                 | 2,005,400                 |
| 純資産額                       | (千円) |                           | 2,430,912                 | 2,364,566                 |
| 総資産額                       | (千円) |                           | 4,195,062                 | 4,211,224                 |
| 1株当たり純資産額                  | (円)  |                           | 1,212.18                  | 1,179.10                  |
| 1株当たり四半期<br>(当期)純利益        | (円)  | 69.08                     | 65.40                     | 176.13                    |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>四半期(当期)純利益 | (円)  |                           |                           |                           |
| 1株当たり配当額                   | (円)  |                           |                           | 36.00                     |
| 自己資本比率                     | (%)  |                           | 57.9                      | 56.1                      |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー       | (千円) | 131,256                   |                           | 99,508                    |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー       | (千円) | 400,778                   |                           | 106,586                   |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー       | (千円) | 71,447                    |                           | 552,562                   |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高   | (千円) |                           | 751,249                   | 1,092,219                 |
| 従業員数                       | (名)  |                           | 969                       | 889                       |

(注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度及び四半期連結会計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社を有していないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年9月30日現在

|         |     |
|---------|-----|
| 従業員数(名) | 969 |
|---------|-----|

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(嘱託社員を含んでおります。)は100分の10未満のため記載を省略しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当社事業のうち、生産実績を有しているのはソフトウェア開発事業のみであるため、以下では当第2四半期会計期間におけるソフトウェア開発事業の生産実績を記載いたします。

| 事業         |           | 生産高(千円)   |
|------------|-----------|-----------|
| ソフトウェア開発事業 | 通信系ソフトウェア | 1,320,728 |
|            | 制御系ソフトウェア | 288,957   |
|            | 業務系ソフトウェア | 156,434   |
|            | 計         | 1,766,120 |

(注) 1. 金額は、製造原価で表示しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当社事業のうち、受注に基づき生産・販売を行っているのはソフトウェア開発事業のみであるため、以下では当第2四半期会計期間におけるソフトウェア開発事業の受注実績を記載いたします。

| 事業         |           | 受注高(千円)   | 受注残高(千円)  |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| ソフトウェア開発事業 | 通信系ソフトウェア | 1,842,978 | 1,355,864 |
|            | 制御系ソフトウェア | 393,106   | 250,952   |
|            | 業務系ソフトウェア | 82,888    | 64,040    |
|            | 計         | 2,318,974 | 1,670,857 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期会計期間における販売実績を事業の種類別に記載いたします。

| 事業          |           | 販売高(千円)   |
|-------------|-----------|-----------|
| ソフトウェア開発事業  | 通信系ソフトウェア | 1,665,497 |
|             | 制御系ソフトウェア | 382,665   |
|             | 業務系ソフトウェア | 246,346   |
|             | 計         | 2,294,508 |
| テクニカルサービス事業 |           | 82,535    |
| ITコンポーネント事業 |           | 12,691    |
| 合計          |           | 2,389,735 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

| 相手先            | 当第2四半期会計期間 |       |
|----------------|------------|-------|
|                | 販売高(千円)    | 割合(%) |
| 日本電気通信システム株式会社 | 547,192    | 22.9  |
| 富士ソフト株式会社      | 256,058    | 10.7  |

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期会計期間におけるわが国の経済は、昨年からの米国を発端とするサブプライムローン問題による国際金融市場の混乱、外需の下押し圧力、消費の足踏み、原油をはじめとする原材料の高騰及び為替相場の動向等の内外経済に与える影響により景気の後退色が強まりました。

当業界におきましては、世界的な景気減速の影響による先行き不透明感から、企業業績へ影響を及ぼすことが懸念され、企業においては予算統制の動きが見られました。一部の顧客においては開発案件の凍結、見直しが行われビジネス環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社は既存顧客の深耕開拓や新規顧客の拡大に注力し業績向上に努めるとともに、他社との競争力を高めるべく技術力の向上及び品質向上に向けた一層の取り組みの強化、生産性の向上を図った結果、増収となりました。また利益面につきましては、総経費の低減に努めた結果、増益となりました。以上の結果、当第2四半期会計期間における経営成績は、売上高23億89百万円、経常利益2億17百万円、四半期純利益1億31百万円となりました。

当第2四半期会計期間における事業別の業績は以下のとおりであります。

##### (ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業の売上高は、売上高22億94百万円となりました。Web関連をはじめとする通信ソリューション系が概ね順調に推移したものの、通信基盤系においては、次世代ネットワーク（NGN）の商用化スタートにも関わらず、国内通信事業者の投資が一部で踊り場となり通信系ソフトウェア開発全体としては伸び悩みとなりました。また制御系ソフトウェア開発においては、デジタル情報機器等が概ね順調に推移したことにより、全体としては堅調な推移となりました。

##### (テクニカルサービス事業)

売上高は82百万円となりました。国内携帯電話市場の飽和による評価案件が低迷したものの、ネットワーク構築・保守・運用サービスが概ね好調だったことにより、全体としては堅調な推移となりました。

##### (ITコンポーネント事業)

売上高は12百万円となりました。企業における内部統制関連でのIT化投資による社内システム整備、基幹システムリプレイス等の需要が一巡したことや設備投資を控えたことにより低調な推移となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産の部)

流動資産は、前事業年度末に比べて40百万円減少（1.2%減）し、34億55百万円となりました。減少の主な要因は、現金及び預金が3億40百万円減少、受取手形及び売掛金が2億37百万円減少、仕掛品が1億36百万円増加、グループバンク制度への短期貸付金が4億円増加したことによりです。

##### (負債の部)

流動負債は、前事業年度末に比べて1億29百万円減少（10.8%減）し、10億68百万円となりました。減少の主な要因は、買掛金が42百万円減少、未払金が68百万円減少、未払法人税等が11百万円減少、賞与引当金が13百万円減少したことによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて46百万円増加（7.2%増）し、6億95百万円となりました。増加の主な要因は、退職給付引当金が42百万円増加したことによりです。

##### (純資産の部)

純資産は、前事業年度末に比べて66百万円増加（2.8%増）し、24億30百万円となりました。増加の主な要因は、当期純利益1億38百万円、配当金72百万円の発生による減少によりです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7億51百万円となりました。

営業活動により支出した資金は、2億43百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が2億17百万円、賞与引当金の増加2億11百万円、売上債権の増加3億25百万円、仕入債務の増加35百万円、たな卸資産の減少59百万円、その他の減少4億78百万円によるものであります。

投資活動により支出した資金は、3億99百万円となりました。これは、主にグループバンク制度への短期貸付によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の国内経済は、サブプライムローン問題を背景とする金融資本市場の変動、原材料価格の高騰、海外経済の動向等の不安定要因など先行き不透明感が広がる中で、景気の下振れリスクの拡大が懸念されます。当業界におきましても、景気の先行き不安に伴う企業の投資活動の慎重化など、厳しい経営環境が予想されます。

しかし、競争力を高めグローバル経済社会で活躍するためのIT投資は企業の生命線であり、それを支える通信インフラの発展は、国内のみでなく世界規模で進んでおり、通信分野における次世代ネットワーク（NGN）の商用化や次世代高速無線通信（WiMAX）等は、通信事業者等において積極的な開発及び設備投資を見込む重点領域とされております。

当社の主力事業であるソフトウェア開発事業においては、通信系ソフトウェアの受託開発業務を中心としており、当該品目の当社売上高全体に占める比率は、当第2四半期会計期間において69.7%と高い状況となっております。

この中でも特に通信基盤系の開発業務の比重が高く、当社におきましては事業拡大の好機と考えており、これら通信基盤系に係る開発業務について、今後も受注拡大を図り注力していく方針であります。

しかしながら国内通信業界における設備投資及び開発投資停滞による需要増減、依存度の高い顧客の需要増減、需要に対応する技術者の確保ができないことによる機会損失等により当社の経営成績及び財政状態に影響を受ける可能性があります。

当社といたしましては、これらの状況を踏まえて、首都圏の需要増加に対する地方拠点での案件対応のための国内オフシア体制による機会損失の低減、新規顧客の開拓や当社が今までに培ってきました通信系ソフトウェア開発技術とノウハウを用いて、通信基盤系のみならず通信ソリューション系を含めた通信系全般での事業拡大を図って参ります。

技術面においては、技術革新が激しい当業界において最新技術力の確保を目的として、技術取得の強化と専門技術の高度化に努めて参ります。更に、これまでに培われた技術ノウハウの積極的な活用と、品質及び生産性の向上にも努めて参ります。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

第1四半期会計期間末に計画中であった設備計画のうち、当第2四半期会計期間において変更のあったものは次のとおりであります。

なお、当第2四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

| 事業所<br>(所在地) | 設備の内容   | 投資予定額(千円) |      | 資金調達<br>方法 | 導入着手<br>年月 | 完了予定<br>年月 | 完成後の<br>増加能力 |
|--------------|---------|-----------|------|------------|------------|------------|--------------|
|              |         | 総額        | 既支払額 |            |            |            |              |
| 全社           | グループウェア | 34,800    |      | 自己資金       | 平成20年5月    | 平成21年3月    |              |

- (注) 1. 当初の計画に比べ、完了予定年月を平成20年10月から平成21年3月に変更いたしました。  
 2. 上記設備計画による完成後の増加能力については、システムが全体的に使用されることから計数的に把握が困難であるため記載しておりません。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 6,621,600   |
| 計    | 6,621,600   |

##### 【発行済株式】

| 種類   | 第2四半期会計期間<br>末現在発行数(株)<br>(平成20年9月30日) | 提出日現在<br>発行数(株)<br>(平成20年11月12日) | 上場金融商品取引所<br>名又は登録認可金融<br>商品取引業協会名 | 内容  |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 2,005,400                              | 2,005,400                        | ジャスダック<br>証券取引所                    | 全て完全議決権株式であり、<br>権利内容に何ら限定のない、<br>当社における標準となる株式<br>であります。 |
| 計    | 2,005,400                              | 2,005,400                        |                                    |   |

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日        | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高<br>(千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成20年9月30日 |                       | 2,005,400            |                | 399,562       |                      | 307,562             |

## (5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

| 氏名又は名称      | 住所                     | 所有株式数<br>(株) | 発行済株式<br>総数に対する<br>所有株式数<br>の割合(%) |
|-------------|------------------------|--------------|------------------------------------|
| 富士ソフト株式会社   | 神奈川県横浜市中区桜木町1-1        | 1,140,500    | 56.87                              |
| サイバーコム社員持株会 | 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-10-10 | 221,000      | 11.02                              |
| 澁谷 純治       | 神奈川県川崎市幸区              | 60,100       | 3.00                               |
| 城田 文晴       | 神奈川県横浜市青葉区             | 36,000       | 1.80                               |
| 鈴木 重雄       | 神奈川県横浜市都筑区             | 24,000       | 1.20                               |
| 高野 享        | 熊本県熊本市                 | 15,200       | 0.76                               |
| 折本 豊        | 千葉県浦安市                 | 12,000       | 0.60                               |
| 成川 武彦       | 千葉県南房総市                | 12,000       | 0.60                               |
| 杉 憲一        | 宮城県仙台市青葉区              | 11,225       | 0.56                               |
| 佐藤 文昭       | 宮城県亶理郡亶理町              | 11,100       | 0.55                               |
| 計           |                        | 1,543,125    | 76.95                              |

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成20年9月30日現在

| 区分             | 株式数(株)            | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|----|
| 無議決権株式         |                   |          |    |
| 議決権制限株式(自己株式等) |                   |          |    |
| 議決権制限株式(その他)   |                   |          |    |
| 完全議決権株式(自己株式等) |                   |          |    |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式<br>2,005,000 | 20,050   |    |
| 単元未満株式         | 普通株式<br>400       |          |    |
| 発行済株式総数        | 2,005,400         |          |    |
| 総株主の議決権        |                   | 20,050   |    |

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成20年<br>4月 | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |
|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最高(円) | 1,449       | 1,535 | 1,490 | 1,345 | 1,270 | 1,125 |
| 最低(円) | 1,205       | 1,250 | 1,250 | 1,202 | 1,070 | 920   |

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所における株価を記載しております。

## 3 【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 役職の異動

| 新役職      | 旧役職 | 氏名    | 異動年月日     |
|----------|-----|-------|-----------|
| 代表取締役副社長 | 取締役 | 渡辺 剛喜 | 平成20年9月1日 |

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、太陽A S G監査法人は、平成20年7月15日付をもって、法人組織を有限責任監査法人へ移行し、名称を太陽A S G有限責任監査法人に変更しております。

### 3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有していないため、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】  
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

|              | 当第2四半期<br>会計期間末<br>(平成20年9月30日) | 前事業年度末に係る<br>要約貸借対照表<br>(平成20年3月31日) |
|--------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| <b>資産の部</b>  |                                 |                                      |
| 流動資産         |                                 |                                      |
| 現金及び預金       | 751,249                         | 1,092,219                            |
| 受取手形及び売掛金    | 1,740,033                       | 1,977,063                            |
| 商品           | 643                             | -                                    |
| 仕掛品          | 295,586                         | 159,165                              |
| その他          | 668,627                         | 268,015                              |
| 貸倒引当金        | 321                             | 360                                  |
| 流動資産合計       | 3,455,818                       | 3,496,103                            |
| 固定資産         |                                 |                                      |
| 有形固定資産       | 1 270,519                       | 1 274,584                            |
| 無形固定資産       | 49,281                          | 40,251                               |
| 投資その他の資産     | 419,441                         | 400,285                              |
| 固定資産合計       | 739,243                         | 715,121                              |
| 資産合計         | 4,195,062                       | 4,211,224                            |
| <b>負債の部</b>  |                                 |                                      |
| 流動負債         |                                 |                                      |
| 買掛金          | 268,251                         | 310,986                              |
| 未払法人税等       | 126,714                         | 138,040                              |
| 賞与引当金        | 414,170                         | 427,500                              |
| 役員賞与引当金      | 12,806                          | 13,972                               |
| その他          | 246,301                         | 306,836                              |
| 流動負債合計       | 1,068,243                       | 1,197,335                            |
| 固定負債         |                                 |                                      |
| 退職給付引当金      | 678,648                         | 636,169                              |
| 役員退職慰労引当金    | 17,256                          | 13,151                               |
| 固定負債合計       | 695,905                         | 649,321                              |
| 負債合計         | 1,764,149                       | 1,846,657                            |
| <b>純資産の部</b> |                                 |                                      |
| 株主資本         |                                 |                                      |
| 資本金          | 399,562                         | 399,562                              |
| 資本剰余金        | 307,562                         | 307,562                              |
| 利益剰余金        | 1,723,787                       | 1,657,441                            |
| 株主資本合計       | 2,430,912                       | 2,364,566                            |
| 純資産合計        | 2,430,912                       | 2,364,566                            |
| 負債純資産合計      | 4,195,062                       | 4,211,224                            |

(2) 【四半期損益計算書】  
 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

|              | 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高          | 4,296,295                                 |
| 売上原価         | 3,483,860                                 |
| 売上総利益        | 812,435                                   |
| 販売費及び一般管理費   | 575,622                                   |
| 営業利益         | 236,813                                   |
| 営業外収益        |   |
| 受取利息         | 1,592                                     |
| 受取事務手数料      | 405                                       |
| その他          | 70  |
| 営業外収益合計      | 2,068                                     |
| 営業外費用        |   |
| 為替差損         | 210                                       |
| 営業外費用合計      | 210                                       |
| 経常利益         | 238,671                                   |
| 特別利益         |   |
| 貸倒引当金戻入額     | 38  |
| 特別利益合計       | 38  |
| 税引前四半期純利益    | 238,709                                   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 116,638                                   |
| 法人税等調整額      | 16,469                                    |
| 法人税等合計       | 100,169                                   |
| 四半期純利益       | 138,540                                   |

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

|              | 当第2四半期会計期間<br>(自平成20年7月1日<br>至平成20年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高          | 2,389,735                                 |
| 売上原価         | 1,895,441                                 |
| 売上総利益        | 494,294                                   |
| 販売費及び一般管理費   | 278,236                                   |
| 営業利益         | 216,057                                   |
| 営業外収益        |   |
| 受取利息         | 938                                       |
| 受取事務手数料      | 402                                       |
| その他          | 0   |
| 営業外収益合計      | 1,341                                     |
| 経常利益         | 217,398                                   |
| 特別利益         |   |
| 貸倒引当金戻入額     | 63  |
| 特別利益合計       | 63  |
| 税引前四半期純利益    | 217,335                                   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,042                                     |
| 法人税等調整額      | 77,142                                    |
| 法人税等合計       | 86,184                                    |
| 四半期純利益       | 131,151                                   |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                         | 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日) |
|-------------------------|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |
| 税引前四半期純利益               | 238,709                                   |
| 減価償却費                   | 9,576                                     |
| 貸倒引当金の増減額（は減少）          | 38  |
| 賞与引当金の増減額（は減少）          | 13,330                                    |
| 役員賞与引当金の増減額（は減少）        | 1,165                                     |
| 退職給付引当金の増減額（は減少）        | 42,478                                    |
| 役員退職慰労引当金の増減額（は減少）      | 4,104                                     |
| 受取利息                    | 1,592                                     |
| 売上債権の増減額（は増加）           | 237,030                                   |
| たな卸資産の増減額（は増加）          | 137,064                                   |
| 仕入債務の増減額（は減少）           | 42,735                                    |
| その他                     | 88,243                                    |
| 小計                      | 247,730                                   |
| 利息の受取額                  | 1,922                                     |
| 法人税等の支払額                | 118,396                                   |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>131,256</b>                            |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |
| 有形固定資産の取得による支出          | 1,731                                     |
| 貸付けによる支出                | 400,209                                   |
| 貸付金の回収による収入             | 269                                       |
| その他                     | 893                                       |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>400,778</b>                            |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |
| 配当金の支払額                 | 71,447                                    |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>71,447</b>                             |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少）      | 340,969                                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 1,092,219                                 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | 751,249                                   |

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

| 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日)  |
|--|
| <p>1 会計方針の変更</p> <p>(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>この変更に伴う、当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準等の適用</p> <p>「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p> <p>この変更に伴う、当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。</p> |

【簡便な会計処理】

| 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日)  |
|--|
| <p>1 たな卸資産の評価方法</p> <p>当四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、合理的な方法により算定する方法によっております。</p> <p>また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。</p> <p>2 固定資産の減価償却費の算定方法</p> <p>定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。</p> |

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)  
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

| 当第2四半期会計期間末<br>(平成20年9月30日)  | 前事業年度末<br>(平成20年3月31日)  |
|--|---|
| 1 有形固定資産の減価償却累計額 38,691千円  | 1 有形固定資産の減価償却累計額 32,895千円   |
| 2 当座貸越契約<br>当社は、運転資金等の効率的な調達を行うため、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。<br>当契約に基づく当第2四半期会計期間末の借入未実行残高等は次のとおりであります。 | 2 当座貸越契約<br>当社は、運転資金等の効率的な調達を行うため、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。<br>当契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高等は次のとおりであります。 |
| 当座貸越極度額 500,000千円  | 当座貸越極度額 500,000千円   |
| 借入実行残高 - 千円  | 借入実行残高 - 千円   |
| 差引額 500,000千円  | 差引額 500,000千円   |

(四半期損益計算書関係)

第2四半期累計期間

| 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日) |           |
|---|-----------|
| 販売費及び一般管理費の主なもの                           |           |
| 従業員給与                                     | 186,035千円 |
| 賞与引当金繰入額                                  | 49,337千円  |
| 役員賞与引当金繰入額                                | 12,806千円  |
| 退職給付費用                                    | 9,565千円   |
| 役員退職慰労引当金繰入額                              | 4,104千円   |

第2四半期会計期間

| 当第2四半期会計期間<br>(自平成20年7月1日<br>至平成20年9月30日) |          |
|---|----------|
| 販売費及び一般管理費の主なもの                           |          |
| 従業員給与                                     | 90,836千円 |
| 賞与引当金繰入額                                  | 24,318千円 |
| 役員賞与引当金繰入額                                | 8,476千円  |
| 退職給付費用                                    | 4,782千円  |
| 役員退職慰労引当金繰入額                              | 3,136千円  |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

| 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日)  |           |
|--|-----------|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 |           |
| 現金及び預金                                     | 751,249千円 |
| 現金及び現金同等物                                  | 751,249千円 |

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類   | 当第2四半期会計期間末 |
|---------|-------------|
| 普通株式(株) | 2,005,400   |

2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり<br>配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成20年5月27日<br>取締役会 | 普通株式  | 利益剰余金 | 72,194         | 36              | 平成20年3月31日 | 平成20年6月27日 |

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

| 当第2四半期会計期間末<br>(平成20年9月30日) | 前事業年度末<br>(平成20年3月31日) |
|-----------------------------|------------------------|
| 1,212.18円                   | 1,179.10円              |

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

| 項目                          | 当第2四半期会計期間末<br>(平成20年9月30日) | 前事業年度<br>(平成20年3月31日) |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 純資産の部の合計額(千円)               | 2,430,912                   | 2,364,566             |
| 普通株式に係る純資産額(千円)             | 2,430,912                   | 2,364,566             |
| 普通株式の発行済株式数(株)              | 2,005,400                   | 2,005,400             |
| 普通株式の自己株式数(株)               |                             |                       |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株) | 2,005,400                   | 2,005,400             |

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期累計期間

| 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日) |        |
|---|--------|
| 1株当たり四半期純利益                               | 69.08円 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益                        | 円      |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

| 項目                   | 当第2四半期累計期間<br>(自平成20年4月1日<br>至平成20年9月30日) |
|----------------------|---|
| 四半期損益計算書上の四半期純利益(千円) | 138,540                                   |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円)    | 138,540                                   |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)     |   |
| 普通株式の期中平均株式数(株)      | 2,005,400                                 |

## 第2四半期会計期間

| 当第2四半期会計期間<br>(自平成20年7月1日<br>至平成20年9月30日) |        |
|---|--------|
| 1株当たり四半期純利益                               | 65.40円 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益                        | 円      |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

| 項目                   | 当第2四半期会計期間<br>(自平成20年7月1日<br>至平成20年9月30日) |
|----------------------|---|
| 四半期損益計算書上の四半期純利益(千円) | 131,151                                   |
| 普通株式に係る四半期純利益(千円)    | 131,151                                   |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)     |   |
| 普通株式の期中平均株式数(株)      | 2,005,400                                 |

### (重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月10日

サイバーコム株式会社  
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川 口 勉

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴 谷 哲 朗

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 原 鉄 也

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバーコム株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第31期事業年度の第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、サイバーコム株式会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。